

運営推進会議議事録

| | | | |
|---------|----------------------|--------------|-------|
| 事業所名 | 幼老の郷 グループホームおっこう山 | 開催回数 | 第18回 |
| 開催日時 | 令和 6 年 1 月 19日 (金曜日) | | |
| 開催場所 | | 議長 | 谷口 寛子 |
| 出席者名 | | | |
| 利用者 | 0名 | 地域包括支援センター職員 | 1名 |
| 利用者家族 | 1名 | 事業所職員 | 3名 |
| 地域住民代表 | 2名 | その他の出席者 | なし |
| 知見を有する者 | 0名 | 合計 7名 | |

議題

1、運営状況の報告

《1階フロア》男性：1名、女性：7名 計8名（うち1名入院中）

平均年齢：88.8歳、平均介護度：1.87

《2階フロア》男性：4名、女性：5名 計9名（うち1名入院中）

平均年齢：86.8歳、平均介護度：2.88

《3階フロア》男性：2名、女性：7名 計9名（うち1名入院中）

平均年齢：87歳、平均介護度：2.11

《全体》 平均年齢：87.5歳、平均介護度：2.3

新しい年を迎え、グループホームおっこう山も、来月の2月で3周年を迎える。

上記報告でもあったように、現在3名の方が入院されている。

皆様元気に過ごして頂いているとはいえ、一番若い方で80歳。90歳を超えておられる方が12名いらっしゃるの、いつどのようなタイミングで体調に変化が起きるかわからないといった緊張感を持ったうえで従事すること、日々のちょっとした変化に気付けるように、ひとりひとりが観察の目を養っていくこと、そういったことに注力する年にしたい。

2、活動報告

・11月20日～ 紅葉ドライブ

ご家族様の参加も検討していたが、インフルエンザ等の流行もあり、残念ながら、ご家族様の参加は中止となるが、暖かい日に、三木の金剛寺へ紅葉ドライブに出かける。金剛寺には、駐車スペースが数か所あり、もみじの下まで車で近づくことが可能な為、移動が安心である。

・余暇時間

こども園での合同誕生日会に参加する。10月に行えなかった為、10月と11月のお誕生日の方が集まる。お祝いしてもらうこども達もたくさんで、ひとりずつ理事長に抱っこしてもらう、嬉しそうなこども達を見て癒される。理事長より誕生日カードを手渡され、涙される場面もあったが、皆さん終始笑顔で楽しめる。

・地域の文化祭に壁画を出す。

・12月21日 焼き芋

とても寒い日だったが、こども園での焼き芋に参加する。焼き上がるまで時間が掛かる為、一旦

施設に戻り、交代しながら参加する。暖かい甘酒とおしるこも用意する。現地に行かれなかった方にも、焼きだての焼き芋を持ち帰り、フロアで召し上がる。

・12月25日 クリスマス会

こども園のクリスマスにサンタさんとして参加する。子どもたちへラムネのプレゼントを袋詰めして準備し、それを持ってこども達の元へ、サンタの仮装をして届ける。男性の利用者様は、袋を肩に担いで登場する等、大活躍であった。

施設では、おやつに全員サンタ帽を被ってクリスマスケーキを召し上がる。

・12月28日 忘年会

1階フロアにて忘年会を行う。「のど自慢大会」を企画し、職員のカラオケで盛り上げると、利用者様もマイクを持ち、前に出て歌われたり、デュエットしたりと楽しまれ、最後は「六甲おろし」の大合唱で締めくくる。

そのまま、北海道から取り寄せたカニで「カニ鍋」を昼食に提供し、×の雑炊まで完食される。

・余暇時間

こども園との交流で、普段テラスで行っている「なごみタイム」をこども園にて行う。こども達がクラスごとに入れ替わり、絵本を読んだり、ダンスを披露してくれたりと楽しませてもらう。

特別支援学校からは、12月の壁画をいただき、フロアに飾るとクリスマスの雰囲気になる。

こども園での合同誕生日会に参加する。

職員研修

11月 認知症の周辺症状と歯の治療

12月 BCP 作成研修

外部研修：リーダー研修、認知症実践者研修

3、事故報告

※事故の内容については別紙参照

4、能登半島地震を受けて

お正月に大きな地震があり、再度災害時の対応、備蓄品の確認を行う。現在、BCP（事業継続計画）のマニュアルを作成している。来年度より義務化される。災害や感染症が発生した際、優先順位をつけ職員が冷静に行動できるようにマニュアルにする内容である。今回の地震を受け、改めて検討を行った。改善点もあり、今後運用していく中でさまざまな方からご意見を頂きながら、活用していきたいと考えている。

5、ご意見・ご要望

あんしんすこやかセンター 守口様

神戸くらしのレポート紹介

震災に関しての詐欺が出ている。高齢者が被害にあい、特に一人暮らしの方の対応に困っている。いろんな場所で発信しているが、気を付けていると言われる人が突然訪問され、説明を聞いているうちに被害を受けてしまうこともある。神戸市のホームページに掲載されている為、目を通して欲しい。

介護リフレッシュ教室の開催。自宅で介護をされている方や興味がある方に声をかけている。1月は「知っておきたい介護サービスのきほん」で65歳以上の方の今後の住まいはどうあるのか、施設の利用金額等、説明している。興味のある内容の時は参加して欲しい。

ご家族

活動報告、事故など言いにくいことも発信してくれている。対策もよくわかる。今の状態がわからない方やその時、その時によって状態も変わっていると思うので、よくしてもらっていると感じる。本人が行事等を覚えていない為、話が広がらない。活動写真を面会時に本人と一緒に見ることができれば、話のネタになると思う。

→面会時、前月の写真を見てもらえるよう検討する。

守口様

転倒の話もあったが、一昔前は身体拘束が普通ではないが、よくある話だった。自身も介護現場にいたのでよく分かる。

本人さんが動くペースに合わせて動ける環境にしているのが前向きで良い。職員さんがそういった機会を作っていくのは大変なこと。

重介護が増えてくると、職員さんの負担が増えてくるので、体のケアもしっかりとして頑張りたい。

地域住民代表

転倒で9件中5件が同じ方で大変だと思う。

トイレなど座るまでは見ているが、その後は？

→本人の羞恥心に配慮して、外に出て中の動きが分かる場所で待機している。

大変だと思うが、頑張りたい。

地域住民代表

資料など作るだけでも大変だと思う。施設内のことは隠したいこともあると思う。でもここはオープンにしているので、安心感につながっている。

夜間に災害などがあれば、スタッフも大変。それを一人で対応するのは、想像もつかないくらい大変だと思う。頭で考えているだけではなく、繰り返しの訓練が大切。

(アルバムの写真を見て)とても良い笑顔で、嬉しかったと思う。すぐに忘れてしまうかもしれないけど、その時が一番楽しかったと思う。

次回の開催 令和6年3月15日(金) 14:00 ~ 15:30

開催場所 グループホームおっこう山